

農村工学部門が実施する技術研修の紹介

農村工学専門技術研修(用水計画と河川協議)

技術移転部 技術研修室長 井上 裕

平成 28 年 6 月 6 日(月)から 17 日(金)までの 10 日間(土日を除く)の日程で農村工学専門技術研修(用水計画と河川協議)を開催しました。

本研修は、河川水などの利活用による用水計画や河川協議に係る専門知識を学ぶとともに、事例研究を通じて新たな水需要に対応できる企画力の養成を図るもので、対象者は国、都道府県、独立行政法人、都道府県水土里ネット等の職員のうち、用水計画の見直しやそれに伴う河川協議に係る実務を担当している技術者で、国 13 名、県 12 名、県水土里ネット 4 名、計 29 名が受講しました。

講師は農林水産省水資源課農業用水対策室など利水者として実務に携わる担当者、また国土交通省水管理・国土保全局の治水課及び水政課の河川管理者側の担当者など、双方の立場からの講義を行いました。通常は協議の相手方である河川管理者の話を聞く機会は少なく、受講者にとっては大変貴重な時間となったと思われます。

講義の後半では事例研究として、沖縄県石垣市の地区及び富山県射水市の地区を題材とし、参加者を 6 班に分け、班ごとに与えられた課題に沿って河川協議の模擬検討を実施しました。

2 週間にわたる宿泊型研修により、昼間だけでなく放課後についても研修生同士の交流が深まり、今後、河川協議で疑問点やアドバイスが欲しい時にはお互いに意見を求め合える環境も整備されたものと思われます。

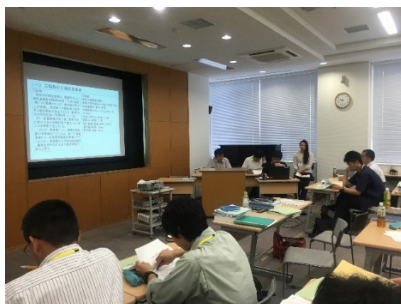
研修生の今後の河川協議の現場での活躍が期待されます。



土地改良区職員の講師による講義



事例研究の様子



事例研究発表の様子



全ての研修日程を終え、寮で打上げ乾杯!